

令和7年度 全国学力・学習状況調査結果について

(島牧村教育委員会)

調査目的：義務教育の機会均等や一定以上の教育水準が確保されているかを把握し、教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。※調査実施日（令和7年4月17日）
対象学年：小学6年生（国語・算数・理科）、中学3年生（国語、数学、理科）
調査項目：教科に関する調査（小学校5年生までの内容、中学校2年生までの内容）、質問調査

■教科に関する調査結果

島牧村の小学校及び中学校における調査結果

	平均正答率（中学校理科はIRTスコア）					
校 種	小 学 校			中 学 校		
教科等	国語	算数	理科	国語	数学	理科
島牧村	61	66	63	83	70	564
全国比（※1）	91.32	113.79	110.33	152.85	144.93	112.13
北海道（公立）	65	55	56	54	47	505
全国（公立）	66.8	58	57.1	54.3	48.3	503

※1 全国比：各教科において全国を100とした場合における島牧村の数値

小学校国語

◎成果：学習指導要領の内容について「知識及び技能」の問題では、言葉の特徴や使い方に関する事項、情報の扱い方に関する事項について高い回答率を示した。

△課題：思考力・判断力・表現力等を求められる問題については、「書くこと」の部分で課題がみられた。特に、文章の構成を考える問題や、図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する問題において、正答率が全国の水準を大きく下回った。

【正答率の低かった問題】

※内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意し、文章の構成を考える問題。

小学校算数

◎成果：学習指導要領で示された内容を理解している児童が多く、良好な結果を示している。全ての領域において全国平均を上回っているが、特に、「図形」の領域については高い正答率を示し、本村児童の正答率は全国と比較すると13ポイント以上高い数値を示している。

△課題：数直線上に示された数を分数で書く問題については、全国の水準を下回った。「分数の意味」と「数の位置関係」について理解を深めさせていく必要がある。

【正答率の低かった問題】

※数値線上で、1つ目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉える問題

小学校理科

◎成果：学習指導要領で示された内容を理解している児童が比較的多く、良好な結果を示している。特に、「エネルギー」を柱とする領域、「地球」を柱とする領域については、高い回答率を示した。

△課題：「生命」を柱とする領域について、4 問中 3 問が全国の水準を下回る結果となった。身近な植物や動物を観察してその成長過程や生態を理解するために、体験学習に重きを置いた指導が重要と考えられます。

【正答率の低かった問題】

※顕微鏡を操作し、適切な像にするための技能が身についているかの問題

※発芽するために必要な条件について、実験の条件を制御した解決の方法を発想し、表現できるかの問題

中学校国語

◎成果：学習指導要領で示された内容を理解している児童が多く、良好な結果を示している。全ての領域において全国平均を上回っており、本村生徒の正答率は全国と比較すると 50 ポイント以上高い数値を示している。

△課題：全国の水準を下回る領域はなかったが、自分の考えが伝わるように、根拠を明確にして書く問題については、正答率が低かった。

中学校数学

◎成果：学習指導要領で示された内容を理解している児童が多く、良好な結果を示している。全ての領域において全国平均を上回っており、本村生徒の正答率は全国と比較すると 20 ポイント以上高い数値を示している。

△課題：全国の水準を下回る領域はなかったが、素数の意味を理解しているかの問題については、正答率が 20%に満たず、全国水準も下回る結果となった。改めて素数の定義から指導する必要がある。

中学校理科

◎成果：ほぼ全ての問題で全国水準を上回り、特に「粒子」を柱とする領域については、高い正答率となった。

△課題：唯一、小腸の柔毛、肺の細胞、根毛に共通する構造と同じ構造をもつものとして適切な事象を判断する問題については、全国水準を下回る結果となった。観察や図を通して共通構造を理解し、共通性と多様性の両方を考えることができるよう指導していく必要がある。

■質問調査の結果から（一部抜粋）

	質問事項	校種	島牧村	全 国
①	朝食を毎日食べていますか。	小学校	75.0%	93.0%
		中学校	100%	91.2%
②	自分には、よいところがあると思いますか。	小学校	100%	86.9%
		中学校	100%	86.9%
③	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。	小学校	100%	92.2%
		中学校	100%	92.2%
④	人が困っているときは、進んで助けていますか。	小学校	100%	93.7%
		中学校	100%	90.9%
⑤	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	小学校	100%	97.2%
		中学校	100%	95.9%
⑥	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。	小学校	100%	70.6%
		中学校	33.3%	73.2%
⑦	人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	小学校	100%	96.4%
		中学校	100%	96.6%
⑧	学校に行くのは楽しいと思いますか。	小学校	75.0%	86.5%
		中学校	83.3%	86.1%
⑨	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。	小学校	75.0%	78.1%
		中学校	83.3%	79.2%
⑩	友達関係に満足していますか。	小学校	75.0%	91.7%
		中学校	100%	91.4%
⑪	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。	小学校	75.0%	93.0%
		中学校	100%	91.6%
⑫	学校の授業時間以外に、普段（月から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか。※1	小学校	100%	81.4%
		中学校	50.0%	80.7%
⑬	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。※2	小学校	100%	47.1%
		中学校	16.7%	57.9%
⑭	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。	小学校	100%	87.4%
		中学校	100%	83.8%
⑮	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にしてお互い協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。	小学校	100%	91.9%
		中学校	100%	91.9%

【※1】⑫ 30分以上勉強している割合（内、1時間以上 小学校 50% 中学校 0%）

【※2】⑬ 1時間以上勉強している割合（内、2時間以上 小学校 0% 中学校 0%）